

問1 儒教の一派であり、主従関係や上下の秩序を重んじる教えで、江戸幕府が政治や道徳の指針として奨励したものを何という？

1. 陽明学 2. 朱子学 3. 古学 4. 国学

問2 16世紀に、日本がスペインやヨーロッパの諸国と行った貿易を何という？

1. オランダ 2. イギリス 3. ポルトガル 4. スペイン

問3 1669年、松前藩による不当な交易に対して蜂起したアイヌ民族の首長は誰ですか？

1. シャクシャイン 2. クナシリ・メナシ 3. 大塩平八郎 4. 平田篤胤

問4 江戸時代、徳川吉宗が漢訳洋書の輸入制限を緩和したことで本格化した、オランダ語を通じて西洋の学術を研究する学問を何という？

1. 天保の改革 2. 寛政の改革 3. 明治維新 4. 享保の改革

問5 18世紀末から19世紀にかけて、日本近海にたびたび現れて江戸幕府に警戒された国のうち、ロシア以外の国はどこ？

1. イギリス 2. ロシア 3. オランダ 4. アメリカ

問6 江戸時代後期、財政難に苦しむ諸藩が、特定の産品を独占的に生産・販売することで利益を得ようとした制度を何という？

1. 株仲間 2. 専売制 3. 参勤交代 4. 鎖国令

問7 江戸時代に、極端な動物愛護を命じた徳川綱吉は何代目の将軍？

1. 8代将軍 2. 3代将軍 3. 5代将軍 4. 11代将軍

問8 江戸時代、徳川幕府の頂点に立ち、軍事や政治の最高責任者として国を治めた役職を何という？

1. 老中 2. 京都所司代 3. 若年寄 4. 将軍

問9 1689年に制定された権利の章典において、王の独断を禁じ、国民の自由を保障するために同意が必要とされた機関を何という？

1. 議会 2. 裁判所 3. 内閣 4. 地方自治体

問10 江戸幕府が日本沿岸に近づく外国船を、理由を問わず砲撃して追い払うために1825年に出した法令を何という？

1. 修好通商条約 2. 異国船打払令 3. 天保の改革 4. 寛政の改革

問11 江戸幕府がキリスト教の布教を完全に排除するために、ポルトガル船の来航を禁止した年はいつ？

1. 1633年 2. 1635年 3. 1639年 4. 1641年

問12 江戸時代、農村などで農家が副業として自分の家で行った小規模な工業生産のことを何という？

1. 工場制機械工業 2. 工場制手工業 3. 重化学工業 4. 家内工業

問13 享保の改革を行い、財政再建のために積極的に新田開発を推進した江戸幕府の第8代将軍は誰ですか？

1. 徳川家康 2. 徳川吉宗 3. 徳川家光 4. 徳川家重

問14 江戸幕府において、幕府の財政を立て直すために「享保の改革」を行った八代将軍は誰？

1. 徳川家光 2. 徳川家康 3. 徳川吉宗 4. 徳川家宣

問15 18世紀後半に商業を重視し、株仲間を奨励する政治を行った老中は誰？

1. 田沼意次 2. 松平定信 3. 徳川吉宗 4. 水野忠邦

答え合わせ・解説

問1	答え 2 朱子学	朱子学は、君臣や親子の間にある厳しい上下関係を自然の理法とみなし、社会秩序を正すことを重視しました。幕府はこの思想を高く評価し、武士の教養や政治の基本理念として奨励しました。
問2	答え 3 ポルトガル	ポルトガル人は1543年に種子島へ漂着し、日本に鉄砲を伝えました。また、フランシスコ・ザビエルらによってキリスト教も日本に伝わりました。これらヨーロッパ諸国との貿易を、当時の日本人は南蛮貿易と呼びました。
問3	答え 1 シャクシャイン	この不当な扱いに苦しんだアイヌの人々は、首長であったシャクシャインを中心に蜂起し、各地で戦いを繰り広げました。しかし、松前藩の軍勢に対して組織的な抵抗は続けましたが、最終的には和議の席で謀殺され、戦いは鎮圧されました。
問4	答え 4 享保の改革	享保の改革は、米価の安定や目安箱の設置などが有名ですが、学問奨励の一環としてキリスト教に関係しない漢訳洋書の輸入を緩和しました。これにより、オランダ語を通じて西洋の知識を学ぶ蘭学が興りました。
問5	答え 1 イギリス	19世紀に入るとアジア方面での貿易拡大を目指し、日本近海にも盛んに姿を見せるようになりました。ロシアやアメリカなどの外国船と同様に、通商を求めて幕府に開国を迫る動きを見せました。
問6	答え 2 専売制	専売制は、藩内の特産物（砂糖、紙、蠟など）を藩が買い上げ、市場へ独占的に販売する仕組みです。藩が利益を吸い上げることで、厳しい財政状況を立て直そうとしました。
問7	答え 3 5代将軍	第5代将軍・徳川綱吉は、儒教を尊び、文治政治を強力に推し進めました。その政策の一つとして出された「生類憐みの令」は、極端な動物愛護を強制するもので、庶民から武士に至るまで厳しい制限が課されました。
問8	答え 4 将軍	将軍は武士の頂点に立ち、全国の諸大名を統制する立場にありました。特に「参勤交代」という制度を用いて、大名を定期的に江戸へ呼び寄せたり、江戸に妻子を住ませたりすることで、幕府への反乱を防ぎ支配体制を安定させました。
問9	答え 1 議会	権利の章典によって、国王が議会の同意なしに法を停止したり、勝手に国民から税金を集めたりすることが法的に禁止されました。これにより、国王といえども法律には勝てないという原則が成立しました。
問10	答え 2 異国船打払令	1825年、幕府は外国船を警戒し、漂流民の保護などの例外を除いて、見つけ次第砲撃して追い払うことを徹底させました。これは強硬な姿勢を示すことで、外国船を寄せ付けないための措置でした。
問11	答え 3 1639年	1639年、幕府は宣教師を派遣し、貿易の拠点ともなっていたポルトガル船の来航を禁止しました。これにより、日本へのキリスト教の流入経路が閉ざされることとなりました。
問12	答え 4 家内工業	家内工業は、主に農家が家族の労働力を使って、綿織物や布製品などの加工品を作る活動です。当初は自分たちの生活用でしたが、やがて問屋から原料を供給されて製品を納める「問屋制家内工業」へと発展しました。
問13	答え 2 徳川吉宗	徳川吉宗は、質素倹約を奨励し、目安箱の設置などで庶民の意見を取り入れました。さらに、幕府の収入を増やすために、全国的な新田開発を強く命じ、農業の生産力を上げる政策を進めました。
問14	答え 3 徳川吉宗	徳川吉宗は1716年に将軍となると、質素倹約を奨励し、年貢の徴収を強化するなどの「享保の改革」を断行しました。また、意見を公に求める「目安箱」を設置したり、江戸の防火対策として町火消を整備するなど、政治体制の強化にも努めました。
問15	答え 1 田沼意次	田沼意次は、当時発展しつつあった商業に注目しました。商人の組合である「株仲間」を公認して運上金や冥加金を取めさせ、流通の活性化を促すことで財政の安定を目指しました。また、海外との貿易にも意欲を見せました。